



「SCマンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。
▼問合せ 危機管理課

各地で防災訓練を実施しています

市内全小学校 地域防災ネットワーク プロジェクト訓練が一巡

9月11日に河合小学校で、地域防災ネットワークプロジェクト訓練が実施されました。この訓練は、自分の身は自分で守る「自助」、地域の人たちと協力して助け合う「共助」を学ぶもので、平成24年度から毎年3校で実施しており、今回で全15校を終えました。

この日はシエイクアウト訓練、避難訓練から始まり、消防署の梯子車による救出訓練、消防署の指導のもとと煙体験や心肺蘇生法、消防団指導のもとと消火器取扱訓練や放水体験などに取り組みました。なお、



地域の防災訓練に参加しよう

災害時の安全対策委員会では、地域の防災訓練に参加していただくよう積極的に周知を行っています。市内では、自主防災組織が21団体結成されており、地域が主体となった防災訓練を各地区で実施しています。地域の特性を理解していれば、

河合地区連合自主防災会では、各種訓練の補助、婦人防火クラブ連合会では非常食の炊き出し訓練を行っていました。
また、セーフコミュニティ災害時の安全対策委員会によるアンケート活動も実施しました。
市民のさらなる防災意識の向上を目指し、来年度からの訓練内容などについては、災害時の安全対策委員会にて検討していきます。

なる訓練は非常に重要となります。
また、防災訓練や出前講座などで「災害への備えについて実態調査アンケート」を行い、市民の防災対策や備えなどについて調査をしています。ぜひご協力をお願いします。



タオル運動 両隣声かけ運動を 広めよう！

タオル運動とは…

「この家には救助を必要とする者はいない」ということを示すために、玄関や門扉など外から一目でわかる場所にタオルをくくりつける、または挟み込むなどの運動です。在宅避難者も実施しましょう。



両隣声かけ運動とは…

避難する際に、自宅の両隣にも、『無事ですか？一緒に避難しませんか？』と声をかける運動です。無事が確認できれば、両隣の家にもタオルをくくりつけて、この家は無事である意思表示をしてあげてください。非常持ち出し袋にはタオルを3本ご用意ください。

火災が増加しています

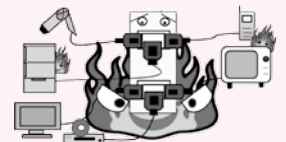
市内での火災が昨年に比べて増加しています。その中でも最も多いのが放火(疑いを含む)です。各団体と協力し防火パトロールなどを行っています。皆さんも放火されにくい環境作りに努めてください。次に多いのが電気火災です。右記の注意事項について再度確認をお願いします。

また、これからの季節は暖房器具などの使用が増えますが「消しましょう その火その時 その場所で」を合言葉に常に火災予防に心掛けましょう。

▶問合せ 消防本部予防課

●電気器具対策

- ・ストーブなどの暖房器具の近くに物品・衣類を置かない
- ・たこ足配線をしない
- ・コンセントプラグを掃除する



●放火対策

- ・家の周囲に燃えやすい物を置かない
- ・ゴミの収集日時を守って出す
- ・家の周りを明るくする
- ・危険物(ガソリン、灯油)を屋外に放置しない

